

R5年度食育関連事業一覧

資料2-1

事業番号	基本的な視点	体系	事業種別	事業年度開始	事業主体	R5事業費(千円)	事業名(個別事業名)	事業のねらい	R5事業実績	R5成果指標と実績		R5活動指標と実績		部局	担当課室	担当班	担当者	内線番号	備考
										項目名	指標・実績(上段:目標、下段:実績)	項目名	指標・実績(上段:目標、下段:実績)						
1	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(1)乳幼児・児童・思春期における食育の推進	A 継	R3	大分県	1,838	子どもの朝食支援事業	小中学生を対象に、関係企業・団体や地域の子ども食堂と連携して朝食の無料提供を行い、子どもの基本的な生活習慣の定着や食育の推進を図る。	モデルとなる小・中学校の希望する児童・生徒を対象に朝食の無償提供を行い、子どもの基本的な生活習慣の定着や食育の推進を図る。(実施校数 4校)	-	-	朝食の無料提供を行う小中学校数	18 20	福祉保健部	こども・家庭支援課	家庭支援班	木下	2704	
2	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(1)乳幼児・児童・思春期における食育の推進	A 特	R5	大分県	1,394(肉付)	おおいたスクールヘルスケア事業	児童生徒の健康課題の解決に向け、学校、家庭、地域医療が連携して、個に応じた対策を進めることで、生涯にわたる健康づくりの基盤を形成する。	・モデル地域における事業実施 ・健康診断、身体測定等による実態把握・成長曲線の活用 ・中等度、高度肥満の児童生徒に対し、医療機関への受診勧奨 ・軽度肥満の児童生徒に対し、学校内での個別相談指導 ・親子すこやか教室の開催 ・小児生活習慣病研修会の開催	推進地域における中等度・高度肥満傾向児出現率(%)	8.3(%) 6.9(%)	身体計測等によるデータに基づいた実態調査(回)	2 2	教育庁	体育保健課	学校保健・食育班	秋吉	5635	
3	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	B	H14	大分県	800	生涯健康「元気な食卓」推進事業	食生活改善推進員の特性を活かし県産品を活用した調理実習などを行い、生涯健康「元気な食卓」(減塩、野菜・果物摂取量増加、伝統料理)の普及と実践の定着化を図る。	食生活改善推進員により、第二次生涯健康県おおいた21の目標達成に向けた普及啓発と伝承料理の調査研究の中からテーマを選択し、県下において創意工夫して実施。 実施回数:107回 参加者数:2,452人	-	-	-	福祉保健部	健康づくり支援課	健康寿命延伸班	下田(健康増進室)	2795		
4	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A 継	R2	大分県	7,928	おおいた食の環境整備事業(うま塩×まず野菜、もっと野菜)	これまでの高血圧対策(うま塩プロジェクト)と野菜摂取増進の取組(まず野菜、もっと野菜プロジェクト)を兼ね備えた中食や外食の拡大推進、県民への普及啓発を通して、食の環境整備を図る。	①「うま塩もっと野菜推進部会」の開催 年2回 ②健康で美味しい食事を選べる機会の拡充 ・「食の健康応援団」の拡充と普及 登録店舗数555店舗(R6.3.31現在) ・「うま塩もっと野菜スタンプラリー」利用者の増加 スタンプ獲得数2,439(R5) ③「うま塩もっと野菜」の推進 ・うま塩もっと野菜レシピをSNS等で配信 ・デジタルサイネージを活用したPR動画の配信(40カ所設置)	-	-	-	福祉保健部	健康づくり支援課	健康寿命延伸班	下田(健康増進室)	2795		
5	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A 継	R2	大分県	3,811	住民参画型介護予防継続支援事業	専門職と連携しながら地域の高齢者が主体的に介護予防活動を継続できるよう体制整備する。	(1)住民参画型介護予防推進検討委員会の開催(年3回) (2)介護予防多職種連携推進会議・研修会の開催(年1回)	-	-	-	福祉保健部	高齢者福祉課	地域包括ケア推進班	杉田	2767		
6	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A 継	H17	大分県	242	食の安全・安心推進事業	食品の安全・安心に係る消費者向けの研修会や食品関連事業者と消費者を対象としたリスクコミュニケーションの実施により、食の知識や安全性に関する相互理解を深める。	・消費者を対象とした食品表示等に関する研修会の実施(3回)	消費者等の理解度向上割合	60% 93.5%	消費者等を対象にした研修会の開催回数	2 3	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班	高橋	3058	
7	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A 継	H25	大分県	890	食の安全・安心推進事業	食品関連事業者を対象に、適正表示に関する理解を深める講習会や適正表示相談会を実施し、適正表示推進者の育成を図る。	・新規事業者や新入業者を対象とした食品適正表示基礎講習会の実施(1回) ・食品衛生責任者更新講習会における講習の実施(14支部×4回)	不適正表示件数(立入検査における不適正表示の割合)	3% 4.5%	食品表示適正化に向けた普及啓発回数	56 56	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班	高橋	3058	
8	1 健全な食生活を実践できる県民の育成(生涯を通じた取組)	(3)生涯を通じた食育の推進	A 継	R3	大分県	23,514	次世代へつなぐ食育推進事業(食育のネットワークの構築)(第4期大分県食育推進計画に基づく取組)	①地域での食育活動の活性化 ②関係者と連携して食育の推進を図る ③～⑤第4期大分県食育推進計画に基づく食育の推進 ⑥「おおいた食」のストーリー継承事業 食文化講座の実施4回、農業体験2回	①おおいた食育人材バンクの運営 ②関係者との連携強化 ・食育推進会議2回 ・食育推進幹事会1回 ・市町村食育推進状況の情報共有 ③県産食材活用や郷土料理の普及 ・料理動画作成、ミールキットを家庭へ100食発送 ④「えらぶ・つくる・たべる」食育の実体験と情報発信 10回 ⑤学校給食食育動画作成事業(県産品5品目をテーマに作成) ⑥「おおいた食」のストーリー継承事業 食文化講座の実施4回、農業体験2回	食育活動参加者数	3300人 3291人	食育推進会議開催回数	2回 2回	生活環境部	食品・生活衛生課	食の安心・食育推進班	安藤	3058	
9	2 魅力あふれる”地域の食”づくり(地域での取組)	(1)地産地消の推進	B	R4	大分県	993	おおいた食の地産地消推進事業	①県産食材の利用促進 ②若年層への地産地消の意識づけ	①県産食材を利用した料理を提供する飲食店の情報発信 ②地産地消商品開発コンテストの実施	とよの食彩愛用店新規登録店舗数(累計)	14 12	-	農林水産部	地域農業振興課	地域農業班	千葉	3582		
10	2 魅力あふれる”地域の食”づくり(地域での取組)	(1)地産地消の推進	B	H29	大分県農業協同組合中央会	1,562	米麦大豆等生産流通対策事業(米消費拡大推進事業)	日本の人口は少子高齢化などで減少の一途をたどり、米の需要・消費についても人口減少に加えて食の多様化や家族構成の変化に伴い、今後も減少傾向が継続していくことが想定される。 については、県産米のおいしさや良さを、各種イベント等を通じて広く県民にPRし、家庭用向け消費を喚起するとともに、日本型食生活(米飯食)の持つ健康で、充実した食生活の重要性の周知を図り、県産米の消費拡大につなげる。	日本型食生活啓発(以下の取組)を通じて県産米の消費拡大に寄与する。 ・JA助成組織と連携した、県内保育園・幼稚園でのおにぎり教室(17箇所) ・健康アプリ「おおいた歩得」利用者プレゼントへの県産米の提供(2回分) ・大分駅ビル・商業施設などで、デジタルサイネージを活用した広報活動の実施(2ヶ月間掲載) ・地産地消及びおむすびの日に伴う地元紙への広告掲載(1回、大分合同新聞)	-	-	-	農林水産部	水田畑地化・集落営農課	集落営農班	白岩	3596		
11	2 魅力あふれる”地域の食”づくり(地域での取組)	(1)地産地消の推進	A 継	H28	大分県カボス振興協議会	3,250	The・おおいたブランド流通販売戦略推進事業(カボス振興対策)	県を代表する産品の「大分かぼす」を全国にPRし、需要拡大を図る(カボス振興協議会負担)。	・かぼすの生産振興ならびに流通改善及び宣伝による消費拡大に関する事業 ・「食生活改善推進員向け大分県産魚を使ってお魚料理教室」へのかぼす提供およびかぼす講座(13回) ・大分県漁協女性部主催のお魚料理教室へのかぼす提供およびかぼす講座(13回) ・調理師専門学校や教育機関(小学校、中学校、高校、大学)等と連携したかぼす料理教室の実施	-	-	-	農林水産部	おおいたブランド推進課	国内流通班	松尾	3634		
12	2 魅力あふれる”地域の食”づくり(地域での取組)	(1)地産地消の推進	B	H17	大分県	387	生きる力をはぐむ食育推進事業	子どもたちに望ましい食習慣と自己管理能力を身に付けさせるため、学校、家庭、地域が連携しながら食育の推進を図るとともに、地場産物を活用するなど、安全・安心な学校給食の提供を目指す。	・栄養教諭を活用した学校教育活動全体での食育の推進 ・学校、家庭及び地域と連携した食育の推進 ・地場産物を活用した学校給食とおいた食育推進 ・食育推進、衛生管理や食物アレルギーに関する研修会の開催	-	-	-	教育庁	体育保健課	学校保健・食育班	秋吉	5635		
13	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)農林漁業者等による体験活動の推進	B	H28	大分県酪農協同組合	2,060	牛乳消費拡大推進事業	県産牛乳の消費拡大に向け、牛乳や酪農に対して理解醸成を図るため、酪農体験教育等への支援を実施する。	(1)酪農体験教育 ・幼稚園・小学校等への訪問 ・牧場への参入体験(幼稚園児・小学生等) (2)酪農イベント (3)事業実施推進(事業計画の立案、体験準備打ち合わせなど)	-	-	酪農体験イベント回数(回)	10 19	農林水産部	畜産技術室	畜産企画班 耕畜連携推進班	秋山 中嶋	3674 3684	
14	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)農林漁業者等による体験活動の推進	B	大分県椎茸振興協議会	1,620	椎茸振興対策事業	しいたけ生産者の技術向上を図るための生産対策や、消費者との関係強化を図る消費拡大対策を通して、しいたけ産業の振興を図り、生産者の所得向上に寄与する。	大分しいたけ食の伝道師による料理教室等の実施(5回) しいたけ料理コンクールの開催 イベントでの情報提供 駒打ち体験教室等の開催	料理教室等実施回数	5 6	-	-	農林水産部	林産振興室	椎茸振興班	神崎	3838		

R5年度食育関連事業一覧

資料2-1

事業番号	基本的な視点	体系	事業種別	事業年度開始	事業主体	R5事業費(千円)	事業名(個別事業名)	事業のねらい	R5事業実績	R5成果指標と実績		R5活動指標と実績		部局	担当課室	担当班	担当者	内線番号	備考
										項目名	指標・実績(上段:目標、下段:実績)	項目名	指標・実績(上段:目標、下段:実績)						
15	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)農林漁業者等による体験活動の推進	A特	R3	大分ジビエ振興協議会	2,083	大分ジビエ普及推進事業	学校給食でのジビエ利用の定着及び食育の推進を図る。	学校給食でジビエを使用する際に必要となる経費を支援(ジビエ肉代等)	-	-	-	-	農林水産部	森との共生推進室	森林環境保護班	永松	3878	
16	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(1)農林漁業者等による体験活動の推進	A継	R1	大分県漁業協同組合等	3,604	県産水産物流通拡大推進事業	県内消費対策として大分県栄養士会を通じた食生活改善推進員への魚食レシピの伝達による魚食普及活動や「おおいた県産魚の日」を活用した県産魚PR活動を行い、県産魚消費拡大を図る。	・市民向けお魚教室の実施 ・小中高校での水産料理教室の実施	-	-	-	-	農林水産部	漁業管理課	団体流通班	田北	3915	
17	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(2)環境に配慮した食生活の推進	A継	H23	大分県	4,148	未来の環境を守る人づくり事業	①環境教育アドバイザーを派遣し、食を含めた環境に関する演題等を行い、環境意識の向上を図る。	①環境教育アドバイザーの派遣を実施 全体派遣回数:187回、参加者数9,363人 食品ロス関係:9回、参加者数170人	-	-	-	-	生活環境部	うつくし作戦推進課	うつくし作戦推進班進班	池本(環境政策課)	3034	
18	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(2)環境に配慮した食生活の推進	B	H25	大分県	1,895	食品ロス削減推進事業	①～④子どもたちを含めた県民への食品ロス削減意識の醸成を図る。	①県内のスーパー等と連携し、10月の食品ロス削減月間において、期限切れ前の食品を購入するようにポスターやPOPを掲示する「手前取りキャンペーン」を実施した。 県内7事業所、274店舗 ②県内の飲食店と連携して、10月の食品ロス削減月間において、外食時の食べ残しを削減するようにポスターやPOPを掲示する「食べきりキャンペーン」を実施した。 県内423店舗 ③未利用食品を有効活用するため、大分県内の企業がフードドライブを実施した。 ④食品ロス削減に関する推進的な役割を担う者の連鎖を作るための「食品ロス削減推進サポーター制度」の周知、啓発を実施した。	-	-	-	-	生活環境部	うつくし作戦推進課	うつくし作戦推進班進班	宇野(循環社会推進課)	3126	
19	3 食を育む環境との共生(次世代へつなぐ取組)	(3)環境と調和のとれた農林水産業の推進	A継	R2	大分県	3,002	GAPを活かす産地育成事業	安全・安心な農産物等の生産や農業生産の経営改善等を図るため、GAP(農業生産工程管理)に取り組む産地を育成し、JGAP等の外部認証を取得する産地を支援する。	1 GAP指導体制確保 ・GAP指導員研修の開催 2 GAPの普及拡大 ・農業者へのGAPの理解促進セミナーの開催	GAP指導員による指導数(経営体)	180 202	GAP啓発セミナー開催数	1 2	農林水産部	地域農業振興課	安全農業班	廣田	3662	